この報告書は、教育委員会が、
毎年、その権限に属する事務の
管理及び執行の状況について、
点検・評価を行うものです。

令和６年度

教育委員会評価報告書

(５年度対象)

令和７年２月

大刀洗町教育委員会

目　　次

Ⅰ　点検・評価の趣旨・根拠等　３Ｐ

Ⅱ　点検・評価の対象及び実施方法　３Ｐ

Ⅲ　教育委員会の活動状況の概要　３Ｐ

Ⅳ　教育委員会が管理・執行する事務　４Ｐ

Ⅴ　教育委員会機構及び職員体制　５Ｐ

Ⅵ　教育委員会の主要施策　６Ｐ

Ⅶ　教育施策の推進状況（子ども課　学校教育係）　７Ｐ ～ ９Ｐ
(1)教育内容の充実
(2)教育環境の整備
(3)学校改革の推進

Ⅷ　子育て支援施策の推進状況（子ども課　子育て支援係）　９Ｐ ～ １０Ｐ
(1)子育て支援体制の充実
(2)仕事と子育ての両立支援
(3)親子の心身健やかな成長の支援

Ⅸ　教育施策の推進状況（生涯学習課）　１１Ｐ ～ １３Ｐ
(1)人権の尊重
(2)青少年の健全育成
(3)生涯学習・スポーツの振興
(4)芸術・文化の振興と文化財の保護

Ⅹ　教育施策に関する指標　１４Ｐ ～ １５Ｐ

Ⅺ　総合評価　１６Ｐ
(1)学識経験を有する者の評価

令和６年度　教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価（令和５年度対象）

大刀洗町教育委員会

Ⅰ　点検・評価の目的・根拠等

(1) 目的：効果的な教育行政の推進に資するとともに、教育行政の推進状況に関する住民への説明責任を果たす。
(2) 根拠：地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条
(3) 要件：教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。また、点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識を有する者の知見の活用を図るものとする。

Ⅱ　点検・評価の対象及び実施方法

(1) 対象：令和５年度の教育委員会活動状況及び教育施策の推進状況
(2) 方法：
①事務局による点検・評価
（教育委員会の活動及び会議の運営状況について、事務局による点検・評価）
②教育委員会による評価
（事務局による評価・点検の審議）
③学識経験を有する者の評価
（①②を踏まえた福岡教育大学・小泉令三教授による評価）
④議会への報告
⑤教育委員会での最終審議及び議決
⑥ホームページ等での結果の公表
(3) 評価の基準

◎	十分に目標を達成している。
○	概ね目標を達成しているが、改善の余地がある。
△	目標達成に向けて、改善の努力と強化が必要である。
×	目標達成がなされていない。今後、取組の抜本的改善が必要である。

Ⅲ　教育委員会の活動状況の概要

(1) 委員の構成
委員は男性３名、女性２名の合計５名で構成され、うち保護者が２名含まれている。職業は多様であるが、年齢構成は全国平均を若干上回っている（本町60.8歳　R5:59.4歳（**教育行政調査より**））。
(2) 委員会開催実績
定例会11回、臨時会３回、出張教育委員会を　南部コミュニティセンターで実施した。行政施策について適切な意見を述べている。
(3) その他の活動
学校訪問、研修会、各種学校及び町行事など感染対策を行いながら、少人数で出席し、児童生徒及び教職員の状況を的確に把握している。
(4) 情報公開
委員会開催の告示、教育委員会評価などは公開しているが、議事録の公開には至っていない。

Ⅳ　教育委員会が管理・執行する事務

教育長に委任できない事務

区　分	主な取組	成果・課題	評価	対応	前年評価
① 規則等の制定・公布	規則１件、規程２件、要綱３件を審議	適正に行った	◎	引き続き適正に行う	◎
② 議会議決等について町長への意見具申	当初予算、補正予算について４回審議	町長への意見は庁議を通じ、適宜具申を行った	○	引き続き町部局へ意見を述べる	○
③ 教育長の任免その他の人事	各種委員３回を審議	適正に行った	◎	引き続き適正に行う	◎
④ 教育委員会事務局職員、その他教育機関職員の人事	事務局職員人事１３回の審議	正規・会計年度任用職員の人事を適正に行った	◎	引き続き適正に行う	◎
⑤ 県費負担教職員の懲戒、分限及び任免の内申	教員の懲戒処分２回の審議	情報の収集と審議を丁寧に行い、懲戒処分を行った	◎	懲戒処分を出さないよう、指導の徹底を図る	◎
⑥ 学校、その他教育機関の施設整備の基本計画の決定	５年度なし	―	―	―	―
⑦ 学校、その他教育機関の設置及び廃止の決定	５年度なし	―	―	―	―
⑧ 重要な教育財産の取得又は用途の廃止	５年度なし	―	―	―	―
⑨ 教育委員会事務の管理、執行状況の点検及び評価	外部評価者の評価、委員会で４回審議	慎重且つ丁寧な評価を実施したが、わかりやすい評価のあり方を検討した	◎	評価様式をさらに分かり易いものにするよう検討する	◎
⑩ 学校教育、社会教育に関する基本方針の決定	教育施策要綱について１回審議を行い、策定した	学校現場の意向を積極的に反映させ、内容が充実した	○	概要版の作成や行政説明の機会をつくり、住民等への周知を図る	○
⑪ 校長、教員等及び生徒児童の保健、安全、厚生又は福利に関する基本方針の決定	教育施策要綱で施策を審議	校長会と協議を重ね、現場の意見を吸い上げることができた	◎	政策立案に当たっては、今後とも現場と協議を丁寧に行う。	◎
⑫ 校長、教員等の研修に係る一般方針の決定	教育施策要綱で施策を審議	同上	◎	今後とも現場と協議を丁寧に行う	◎
⑬ 児童、生徒の就学すべき学校の区域設定と変更	区域設定・変更は無いが、申請による区域外就学６件、指定学校変更１１件を審議	適正に行った	◎	変更申請が増加しているので、適正な判断のための情報収集を慎重に行う	◎
⑭ 法令等に基づく委員の委嘱及び解嘱	スポーツ推進委員ほか３件について委嘱を行った	教育への理解と協力を得られる適切な人材を委嘱することができた	◎	引き続き適正、適切に行う	◎
⑮ 教育用図書採択の決定	令和６年度使用小学校教科用図書採択の決定を行った	適正に行った	◎	引き続き適正、適切に行う	―
⑯ その他	菊池小学校増築及び健康管理センター改修工事入札２件、校務システム購入入札１件を審議	適正に行った	◎	引き続き適正、適切に行う	―

成　　果

①教育委員会活動は、公正な立場から幅広い観点で活発な議論が行われており、概ね所期の目的が達成された。

②子育て支援体制や多種多様な家庭環境等の課題や支援について共有を行った。

③総合教育会議を開催できていないが、庁議や個別に町長と今後の事業計画など教育施策の共有を行った。

課　　題

①　議事録公開については長年の懸案であるが、事務作業に伴う時間の確保などの問題があり実施できていない。

②「大刀洗町教育の日」を制定し、学校・家庭・地域が教育における役割を見つめ直し、三者がより一層協力・連携できるような環境づくりを目指しているが、講演会等への現役世代の参加者が少なく、教育問題に対する関心が今ひとつ広がっていない。

③委員の出身地による男女別の構成及び保護者からの選任を配慮する必要がある。

Ⅴ　教育委員会機構及び職員体制

（１）子ども課

（年度末時点）

課名	業務区分		採用区分	職　　名	担　当　業　務	人数 4年度	5年度	増減
子ども課			正規職員	課長	委員会総括、学校教育総括、子育て支援総括	1名	1名	0
	学校教育係	事務局	正規職員	指導主事（割愛）	教育委員会会議、校長会、教育課程、教育相談等	1名	1名	0
				係長	予算管理、学校施設管理、保健・給食等	1名	1名	0
				係員	学校庶務、文書・就学事務、教科書、学級編制等	2名	2名	0
			専務的会計年度任用職員	教育支援コーディネーター	教育支援員総括	1名	1名	0
				特別支援教育アドバイザー	特別支援（週12時間）	1名	1名	0
			補助的会計年度任用職員	一般事務補助	一般事務補助	1名	1名	0
	町内小・中学校	講師	常勤講師	常勤講師	小学校常勤講師	0名	0名	0
			非常勤講師	非常勤講師	小学校非常勤講師	0名	0名	0
		学校支援	補助的会計年度任用職員	イングリッシュサポーター	教師補助（週12時間未満）	1名	0名	▲ 1
				部活動指導員	部活動外部指導者（ソフトテニス・卓球・剣道）	3名	3名	0
		ＳＳＷ	専務的会計年度任用職員	ｽｸｰﾙｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰ		1名	1名	0
		学校司書	専務的会計年度任用職員	学校司書	学校図書館の事務、図書の貸出し、補修その他整理	5名	5名	0
		ＡＬＴ	専務的会計年度任用職員	外国語指導助手	外国語指導助手（大刀洗中学校他）	1名	2名	1
		事務補助	補助的会計年度任用職員	一般事務補助	一般事務補助（大刀洗中学校）	2名	2名	0
		特別支援	補助的会計年度任用職員	特別支援教育支援員	特別支援教育支援員	14名	16名	2
					通級指導教室支援員	3名	3名	0
		学校支援	補助的会計年度任用職員	学校支援員	教師補助・学校支援	5名	5名	0
		コロナ対策	補助的会計年度任用職員	学習指導員	教師補助	0名	0名	0
			補助的会計年度任用職員	スクールサポートスタッフ	消毒等補助	0名	0名	0
	計					43名	45名	2
	子育て支援係	事務局	正規職員	企画監	（兼子育て支援センター長）保育所、児童遊園	1名	0名	▲ 1
				係長	保育所、児童遊園、要保護児童対策、少年補導員	1名	1名	0
				係員	保育所学童保育、病後児保育、要保護児童対策、少年補導員	1名	2名	1
			専務的会計年度任用職員	子ども支援ﾜｰｶｰ	家庭児童相談	2名	2名	0
		ちゃお	専務的会計年度任用職員	保育士	子育て支援センター　保育士	2名	2名	0
			補助的会計年度任用職員	保育士	子育て支援センター　保育士、一般事務補助	1名	1名	0
				保育士補助	子育て支援センター　保育士補助	1名	1名	0
	計					9名	9名	0
合計						52名	54名	2

（２）生涯学習課

（年度末時点）

課名	業務区分		採用区分	職　　名	担　当　業　務	人数 4年度	5年度	増減
生涯学習課			正規職員	課長	生涯学習・図書館・公民館総括（兼公民館副館長）	1名	1名	0
	生涯学習係	事務局	正規職員	係長	生涯学習・図書館・公民館・予算・施設管理、補助金等（公民館主事）	1名	1名	0
				係員	社会教育、社会体育、施設管理、人権・同和教育、庶務等	3名	2名	▲ 1
			専務的会計年度任用職員	社会教育指導員	青少年育成、学校外活動、子ども会、公民館ｻｰｸﾙ、郷土史学級、高齢者学級、社会人権同和教育、女性学級等	2名	2名	0
				地域活動指導員	青少年育成、学校外活動（体験活動、ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動、子ども会学習活動等）、ドリームカフェ等	2名	2名	0
				ﾄﾞﾘｰﾑｾﾝﾀｰ管理	ﾄﾞﾘｰﾑｾﾝﾀｰ運営、施設管理	1名	1名	0
				図書館館長	図書館業務、資料収集、整理保存等	1名	1名	0
				図書館司書	図書館業務、資料収集、整理保存等	2名	4名	2
			補助的会計年度任用職員	常勤	図書館業務補助	4名	2名	▲ 2
				非常勤（月4～8日）	図書館業務補助	3名	3名	0
	文化財係	事務局	正規職員	係長	文化財施策管理、予算管理、史跡管理、事務所管理、補助金等	1名	1名	0
				係員	開発行為等事前調査、埋蔵文化財発掘等	1名	2名	1
			フルタイム会計年度任用職員	文化財専門員	開発行為等事前調査、埋蔵文化財発掘等	0名	1名	1
			専務的会計年度任用職員	文化財専門員	開発行為等事前調査、埋蔵文化財発掘等	3名	0名	▲ 3
				文化財整理作業専門員	文化財整理専門作業、現場実測作業	0名	2名	2
			補助的会計年度任用職員	文化財整理等（毎日）	文化財整理作業、現場実測作業	2名	0名	▲ 2
				文化財整理等（月11日以内）	文化財整理作業、現場実測作業	0名	6名	6
				文化財発掘等（月8日以内）	埋蔵文化財発掘作業、現場実測作業	50名	44名	▲ 6
	計					77名	75名	▲ 2
合計						77名	75名	▲ 2
教育委員会　合計						129名	129名	0

Ⅵ　教育委員会の主要施策

※(　)例(①ｱ)は、Ⅶ　教育施策の推進状況の区分・評価項目の表示

1　子ども課

【目標】「豊かな心、確かな学力、健やかな体」の調和のとれた自立できる子どもの育成（地域で育てよう～チルドレン・ファースト～）

（1）学校教育係

1 教育内容の充実（豊かな心、確かな学力、健やかな体、社会の変化に対応）
2 教育環境の整備（信頼される教職員の育成、安心して学べる学校づくり、安全で快適な教育環境）
3 学校改革の推進（特色ある・地域とともにある学校づくり、共同学校事務室の充実）

1に関して：　○非認知能力向上については、『効果のある指導』の実践を進めた(①イ)。　○学力向上は、『教えて考えさせる授業』について研修を深めた(②アイ)。　○体力向上については、感染対策を講じながら活動を行った(③ア)。　2に関して：　○学校の取組及びSSWによる学校支援を行っているが、前年度より不登校数は増加した(⑥イ)。　○SSWや子ども支援ワーカー等の支援体制を厚くして支援を継続した(⑥ウ)。　○学校施設の改修は、菊池小増築工事等、予定通り実施した(⑦ア)。　3に関して：○学校運営協議会については感染対策を講じながら実施し、各学校の重点目標等に向かう地域学校協働活動が展開された(⑧イ)。

（2）子育て支援係

1 子育て支援体制の充実（体制・組織の確立、地域でのサービス、ネットワーク、情報提供・相談体制）
2 仕事と子育ての両立支援（保育サービス・放課後児童クラブの充実）
3 親子の心身の健やかな成長の支援（要保護児童対策支援）

1に関して：　○健康管理センター改修のため、中央公民館にて実施。限られた空間の中、親子で安心して過ごせる場所の提供を行った（②ア）。　2に関して：　○保育士の奨学金返済支援事業の充実を図った(⑤ア)。　○学童保育所の管理運営については、指導助言を行った(⑥ア)。　3に関して：　○子ども支援ワーカー2名で、引き続き関係機関との連携を継続し、早期発見、早期対応を行う(⑦ア)。　○健康管理センター大規模改修工事が完了し、こども家庭センターを設置した(⑦オ)。

2　生涯学習課

【目標】「自己の能力」を高め、「自立的」で、「人間性豊かな生活」を送ることができる町民への支援

（1）生涯学習係

1 人権の尊重（啓発、講演会、学習会）
2 青少年の健全育成（体験活動）
3 生涯学習・スポーツの振興（生涯学習体制、町立図書館、スポーツ振興）

1に関して：　○町民意識調査を実施した結果を踏まえた事業を行った(①ア、①イ)。　2に関して：　○学校外活動、青少年育成活動等に支援を行った(②ア、②イ)。　3に関して：　○各種学級講座、高齢者学級、女性学級等を開催した(④ア)。　○カフェ出店等の利用を推進した(⑤イ)。　○図書館行事（各種講座・おはなし会等）を開催した(⑤ウ)。　○中央公民館の大規模改修を実施した(⑤ア)。　○勤労者体育センターのLED化を実施した(⑥ア)。　○各種スポーツイベント（バレーボール・マラソン）を開催した(⑥ウ)

（2）文化財係

1 芸術・文化の振興と文化財の保護（国指定文化財の保護と活用）

1に関して：　○下高橋官衙遺跡は、軽トラひばり市、JA農業祭等の大規模イベントが実施された。また、パラグライダー、遠足、校外学習や紙飛行機の飛行イベント等、利活用目的が多様化しており、平坦で障害物がほとんどない広大な敷地だからこそニーズがあると考えられ、今後の利活用方法に対して可能性を感じる。グラウンドゴルフは定期的に利活用されている。(⑧イ)。○今村天主堂は、一般財団法人今村天主堂保存会、文化庁及び福岡県教育庁文化財保護課との協議を行いながら、令和6年度から予定の本工事に向けて調査工事を実施した。(⑨ア)。

Ⅶ　教育施策の推進状況（子ども課　学校教育係）

※( )書き 例(X④)は、「X 教育施策に関する指標」の表示

(1)教育内容の充実

区　分	評価項目	主な取組	成果・課題	評価	対応	前年評価
① 豊かな心をはぐくむ教育の推進	ア 学校教育推進事業の取組の充実と評価	学校教育推進委員会の取組の具現化、事業全体の評価と改善を行った	３年間事業の１年次であり、″３つのベストミックス″の取組指標を設定し、全教職員が共通理解して実践することができた	○	″３つのベストミックス″を教師と子どもの姿で取組指標を設定し、具体的な取組を示していく	○
	イ 学級経営・生徒指導の充実	具現化できる学級目標を設定し目標を達成する学級経営の充実と「効果のある指導」を実践した	「効果のある指導」を日々の授業や集団づくりに位置付けて取り組むことができた	○	「個人名を挙げ、学級目標と関連付けて認める」という指導スキルに回数の要素を加えて実践する	○
	ウ 道徳教育の充実	道徳教育の指導内容の重点化と推進と「特別の教科道徳」の授業づくりの充実を図った	検定教科書や道徳ノートを用いて授業が日常的に実践されている	○	道徳的価値について考え自我関与を促す授業づくりを推進する	○
	エ 特別活動の充実	学級活動等や児童会・生徒会活動の充実を図った	年度当初に学級目標について話し合い、それを基に話し合い活動や自治的活動を実践することができた。	○	目指す子ども像と関連付けて、活動のめあてと振り返り活動を充実させる	○
	オ 人権教育の充実	教育活動全体を通して計画的・効果的な人権教育の充実を図った	性の多様性に関する年間指導計画を検討したり、教職員の人権感覚、科学的認識を高める研修会を実施したりできた	○	「かがやき」「あおぞら」等を活用した個別的な人権課題に対する取組を充実させる	○
② 確かな学力をはぐくむ教育の推進	ア 学習指導要領の確実な実施	新学習指導要領の完全実施（小学校：令和２年度施行、中学校：令和３年度施行）を踏まえた教育課程を編成するよう指導した。	各学校において、自校の実態に即したカリキュラム・マネジメントが実施された。内容及び時数の管理も適切であった	○	引き続き、カリキュラム・マネジメントの充実に努めるよう支援をおこなう	○
	イ 確かな学力の育成	「教えて考えさせる授業」を全学校で展開することに加え、１人１台端末を積極的に活用することを指導した。	「深い習得」のために「教えて考えさせる授業」における説明活動の充実や端末の活用事例が確認できた(X④)	○	引き続き、端末を使いこなす子どもの姿を目指し学習内容の「深い習得」をねらう授業を展開する	○
③ 健やかな体をはぐくむ教育の推進	ア 体力向上・健康教育の推進	体力向上の取り組みの推進 健康教育の充実を図る	「一校一取組」運動や体育の学習、外遊びの充実を図ることができた	○	熱中症対策を継続し、各校の課題に応じた体力向上を支援する	○
	イ 食育・学校給食等の充実	職員及び民間委託による自校方式の学校給食の提供を基本に、月額1,000円の給食費補助を行っている。また全小中学校で「弁当の日」を５日間実施した	給食調理の民間委託により、安全・安心の給食の提供がなされている。 調理技術の向上もあり美味しい給食の提供ができている	◎	引き続き、すべての小中で給食調理の民間委託を実施していく	◎
④ 社会の変化に対応する教育の推進	ア キャリア教育の充実	発達段階に応じたキャリア教育、幼児から児童・児童から生徒へつなぐキャリア教育を実施した	全児童生徒へのキャリアパスポートの配布と活用促進に関する指導をおこなった	○	引き続き、キャリアパスポートの活用やスタートカリキュラムの充実に努める	○
	イ 読書活動の推進	各学校に学校司書を配置し、図書館運営を行う。また、各学校の朝読書の定着を図った	読書ボランティアや委員会活動を活用し、読書活動が推進された	◎	町立図書館との連携を強化し、引き続き読書活動の充実を図っていく	◎

	ウ 外国語教育の充実	民間委託のALT、小学校英語専科の配置の活用を継続した	デジタル教科書やプレゼンテーションやドリル学習を中心に、１人１台端末を活用する授業が多くなされた	○	引き続き、１人１台端末を効果的に活用した英語４技能の習得をめざす	○
	エ 国際理解、情報、環境、福祉教育等の充実	ICTを活用できる教育環境の整備や１人１台端末を活用した授業づくりを推進した	端末をいつでも使えるように手元に置かせ、授業において子どもが考えを共有できるように取り組むことができた	○	子どもが端末を使いこなす姿を目指し、授業において、子どもが学習した内容を端末上で保存する活動を位置付ける	○
		感染症対策を講じた上で、関係各所と相談しながら体験学習を計画した	地域人材をGTとして教室に招聘したり、オンラインで講話をいただいたりした	○	人・こと・ものを効果的に位置付け、体験学習ができるようにする	○

(2) 教育環境の整備

区　分	評価項目	主な取組	成果・課題	評価	対応	前年評価
⑤ 信頼される教職員の育成	ア 教職員の資質向上	町内研修会、校内研修を通じ資質向上を図るとともに、県・市郡教育研究所講座等への参加を促進する	集合しての町全体研修会を年２回、授業公開を伴う研修会を年２回実施できた	○	授業を伴う研修会の参加体制を明確にし、町の取組を共通理解する場を確保する	○
	イ 教職員のメンタルヘルス対策やサポート体制の充実	教職員の健康管理の促進・メンタルヘルス対策の充実を図る	「２０時を上限に完全退校」の文化が浸透しているが、超過勤務の実態は残っている（X⑥）	△	管理職からの指導や校長面談の充実、健康管理医による相談体制の充実を図る	△
	ウ 教職員の適正配置	学校長の人事異動に関する具申を基本に、学校活性化のための適正配置に努める	一定の配置ができたが、定数が埋まらないままの学校もあった	○	学級数に伴う定数の調整や、常勤講師の確保に努める	○
	エ 教職員の働き方改革の推進	長時間勤務を改善し、授業づくりに集中し、教育の質を高められる環境の構築を図る	超過勤務時間を月あたり45時間に収めようという意識は高まった	○	引き続き、「月あたり45時間」「年間360時間」という上限を示す	○
⑥ 安心して学べる学校づくりの推進	ア 特別支援教育の充実と総合推進事業の推進	町特別支援教育推進協議会を設置し関係機関と連携して、効果的・継続的な支援を推進している	早期支援につなぐケースが増える一方、特別支援学級が増え、教室・教員不足の状況が生まれた（X⑦）	△	教育支援委員会において、客観的データを基に適切な就学先を検討する機能を強化する	○
	イ 様々な課題に対応できる学校の指導体制の充実	生活アンケート等により早期発見・早期対応に努める 全職員への共通理解や組織的な取組、「ふくおかアクション３」の取組の実施	不登校数は令和４年度に比べて増えたものの、中学生の解消者数もいる。各校においていじめの認知に対する意識が高まっている（X⑦）	○	「大刀洗町いじめ・不登校等対策協議会」（年１回）を継続し、現状や対策等を５校で共有できるようにする	○
	ウ 学校を支援する体制の確立	教育支援Co.及びSCやSSW、子ども支援ワーカー等、必要に応じて人材を学校に派遣した	こども家庭センターが完成し、支援体制の推進に向けた体制を整備することができた	○	スタッフの配置やセンターのシステム等、ソフト面の設計を進める	○
⑦ 安全で快適な教育環境の整備・充実	ア 学校の教育施設整備の充実と安全体制の整備・充実	各種修繕工事のほか、菊池小学校の校舎増築工事を実施し、児童数増加等による教室不足解消を図った	あらゆるニーズに応えた教育環境を整備することができた。今後は照明設備のLED化を進める必要がある（X⑧）	○	国庫補助を活用し、より良い教育環境の整備に向け、適宜修繕等を行っていく	○
	イ 児童生徒の安全確保を図る学校安全体制の強化・充実	青パトの巡回、見守り隊による交通安全指導、通学路の安全点検の結果を基に危険箇所の改善を関係機関に依頼	コロナ禍での制限も緩和され、PTAだけでなく、地域の方の協力で充実した取組みになってきている	◎	引き続き関係機関と連携を図りながら、安全確保に努める	◎

(3) 学校改革の推進

区　分	評価項目	主な取組	成果・課題	評価	対応	前年評価
⑧ 特色ある学校づくり・地域とともにある学校づくりの推進	ア 特色ある学校づくりの推進	特色ある教育課程の編成を行い、組織的な学校づくりを推進する	学校教育目標や重点目標に向けて、各学校が工夫して教育活動を展開した	○	掲げた目標が、具体的にはどのような子どもの姿を表すのか、説明したり問いかけたりする	○
	イ 地域とともにある学校づくりの推進	家庭や地域との連携・協働によるコミュニティ・スクールを核とした学校づくりを推進する	年間４～６回の各校運営協議会と、３回の大刀洗町CS推進会議をもった	○	CSの趣旨実現に近づくよう、熟議の充実を具体的に提案しながら進める	○
⑨ 共同学校事務室の充実	ア 子どもの豊かな育ちをめざした学校事務機能の強化推進	積極的に学校運営に参画し、学校業務改善を推進するため、共同学校事務室の充実を図る	事務職員の参画意識の向上や、相互支援による正確な事務処理、若年職員の育成を進めた	○	さらに共同化を推進するために、校務支援システムのR7年度からの導入を行う。	○

Ⅷ　子育て支援施策の推進状況（子ども課　子育て支援係）

※( )書き 例(X③)は、X 教育施策に関する指標の表示

(1) 子育て支援体制の充実

区　分	評価項目	主な取組	成果・課題	評価	対応	前年評価
① 子育て支援体制・組織の確立	ア 子育て支援制度の整備・充実	現行の保育サービスを整備する	子ども・子育て支援事業計画に沿って事業を実施した	○	引き続き、事業計画に沿って実施する	○
	イ 子育て支援の組織の充実	利用者に対する情報提供体制の整備や関係機関との連携を図った	ホームページや広報、LINEにて情報発信を行った	○	関係機関との連携を図りながら今後も利用者への周知を行う	○
	ウ 子ども・子育て会議の開催	第２期子ども・子育て支援事業計画の評価	点検・評価を実施し、今後の取組に向けた課題等の把握ができた	○	第３期子ども・子育て支援事業計画に向けて、引き続き子ども・子育て会議で確認する	○
② 地域における子育て支援サービスの充実	ア 子育て支援センターの活用・整備	親子の交流事業や子育て講座等、親子で安心して過ごせる場所を提供した	普段と異なる限られた空間で事故なく実施できた	○	引き続き安心安全な場の提供を行う	○
③ 子育て支援のネットワークづくり	ア 住民へのサービスの周知、関係者・団体と連携しネットワーク作りの推進	保健師、教育支援コーデイネーター、図書館等との連携会議を開催した	毎月の開催で、連携を図ることができた	○	引き続き開催していく	○
④ 子ども子育てに関する情報提供・相談体制の充実	ア 子育てに関する情報提供と相談体制の充実	多様化する子育て支援に関する事業の情報を整備	子ども課窓口と子育て支援センターで、情報提供や相談事業を行った	○	引き続き情報提供・相談体制の充実を図る	○

(2) 仕事と子育ての両立支援

区　分	評価項目	主な取組	成果・課題	評価	対応	前年評価
⑤ 保育サービスの充実	ア 子どものための教育・保育施設の充実	保育士確保のための支援を実施した	奨学金返済事業の対象者を拡大した。	○	引き続き、保育サービスの充実に努める	◎

	イ 地域子ども・子育て支援事業の実施	延長保育、一時預かり、病後児保育、子育て短期支援事業を実施する	保護者の就労形態に応じた多様な要望に対応できる事業を進めることができた	○	保育ニーズにあった事業を進める	○
⑥ 放課後児童クラブ（学童保育所）の充実	ア 放課後児童クラブの運営の充実、支援員の専門性の向上	各学童保育所がより適切に運営されるよう、指導助言を行った	虐待防止等に関する研修を実施し、専門性の向上を図った 専門機関からの訪問指導を実施し、児童への関わり方について学ぶ機会とした。	○	引き続き運営の充実を支援する。 国の交付金を活用し支援員の処遇改善を図る	○

(3) 親子の心身健やかな成長の支援

区　分	評価項目	主な取組	成果・課題	評価	対応	前年評価
⑦ 要保護児童対策支援	ア 要保護児童対策地域協議会の開催	要保護児童の発生予防、早期発見、早期対応等を行った 要保護児童対策地域協議会を開催し情報の共有化を図った	子ども支援ワーカーを配置し、早期発見、早期対応ができた。 個別ケース会議で情報共有し関係機関との連携を図った	○	要保護児童だけでなく家庭への支援も含め、関係機関の更なる連携を図る。	○
	イ　対策関係者のスキルアップ	学識経験者等の専門家を招き、児童虐待対応についての共有認識と運営手法についての研修会・講習会などを開催する	研修は未実施だが、実務者会議をグループ協議に変えたことで共有認識が深まった	△	研修実施については、検討する	×
	ウ 児童虐待未然防止のための取組	「子どもへの暴力防止プログラム」ワークショップを小中学校保育園等で実施する	前年度より多く実施。新たに民生委員児童委員を対象とする	○	継続して実施し、対象も随時拡げて行う	○
	エ　子ども支援ワーカーの配置	担当職員２名で、関係機関と連携しながら虐待や支援を必要とする家庭に対する対応を行った	家庭での関係性や課題が複雑で、長期的な対応が必要である	○	継続して、支援が必要な児童・家庭へ対応していく	○
	オ　子ども家庭総合支援拠点設置に向けての協議	健康管理センター大規模改修工事を行い、関係課との連携および協議を進めた	令和６年度に子ども家庭総合支援拠点業務も含む「こども家庭センター」設置へと進んだ	◎	体制等については、引き続き関係課との協議・検討を行う	○

Ⅸ　教育施策の推進状況（生涯学習課）

※( )書き 例(Ⅹ⑨)は、「Ⅹ 教育施策に関する指標」の表示

(1) 人権の尊重

区　分	評価項目	主な取組	成果・課題	評価	対応	前年評価
① 人権・同和教育の推進と啓発活動の推進	ア 人権・同和教育の推進	各種講演会、各種研修会、企業訪問による人権・同和教育の推進	人権講演会、分館長会、職員学習会の実施	○	人権・同和教育の推進につながる取組みを検討する	○
	イ 人権・同和問題に対する意識の高揚	人権朗読会、人権講演会の実施	**「同和問題」をテーマに人権朗読会（ナレーションサークル風さん）と、「子どもの人権」をテーマに人権講演会（大久保嘉人さん）を実施**	○	人権意識の向上に効果的な人権講演会や人権朗読会を開催する	○
	ウ 各種研修会等への積極的参加の促進	各種研修会への積極的な参加の促進	**県や北筑後ブロック等で開催された研修会に参加**	○	県や北筑後ブロック等で開催される研修会に参加し、町の事業に反映していく	○
	エ 人権・同和教育に関する資料の整備・活用	人権・同和教育に関する資料の整備・活用	町立図書館の特設コーナーに、人権・同和教育に関する資料を設置し、本を通じて啓発活動を実施	○	町立図書館の特設コーナー等を活用して、本を通じて啓発活動を実施していく	○
	オ 学校教育及び関係機関との連携	学校教育及び関係機関との連携として3部会（就学前・学校教育・社会教育）での研修開催	**「子どもの人権」をテーマに人権講演会（大久保嘉人）等の研修会を実施**	◎	3部会で連携しながら人権・同和問題の研修会を実施していく	◎

(2) 青少年の健全育成

区　分	評価項目	主な取組	成果・課題	評価	対応	前年評価
② 青少年育成・体験活動の充実	ア 学校外活動の支援	子ども料理教室 チャレンジ教室（大刀洗・菊池）、アンビシャス広場（大堰・本郷）への支援 通学合宿(4校区)の実施	**校区チャレンジ教室やアンビシャス広場等に支援を実施 通学合宿は全ての校区で実施**	○	継続して学校外活動の支援を実施していく	○
	イ 青少年育成の体制づくり	校区民会議への支援 青少年活動指導員やジュニアリーダーの育成	**校区民会議に支援を実施**	○	**校区民会議等への支援継続と、活動指導員等の育成を行っていく**	○
	ウ 家庭教育の支援と啓発活動	町民会議による支援 まなビィ講座の実施	**町民会議による支援と、まなビィ講座を実施**	○	**町民会議による支援とまなビィ講座を実施していく**	○
	エ 世代間・地域間交流の促進	校区民会議への支援 育成だよりの発行 少年の主張大会の開催	**町民会議主催事業と、校区民会議主催事業への支援を実施 少年の主張大会を開催**	○	**校区民会議事業への支援と、少年の主張大会を開催していく**	○

(3) 生涯学習・スポーツの振興

区　分	評価項目	主な取組	成果・課題	評価	対応	前年評価
③ 生涯学習推進体制の確立	ア 生涯学習活動の推進	各種学級やサークル活動の支援	各種学級やサークル活動の支援を実施 参加者の高齢化・固定化	○	学級やサークルと連携して、住民へのＰＲ方法を検討する	○
	イ 社会教育機能の充実	社会教育委員、公民館運営審議会の機能充実のための研修会等への参加	県や北筑後ブロック等で開催された研修会に参加	○	開催される研修会等への積極的な参加を促す	○
④ 生涯学習機会の充実と情報の提供	ア 生涯学習機会の充実	各種学級講座、高齢者学級、女性学級等を実施 不定期的な講座の企画・実施	各種学級講座、高齢者学級、女性学級等を実施 参加者の高齢化・固定化	○	活動内容と住民へのＰＲ方法を検討する	○
	イ 家庭教育の支援	青少年育成町民会議による支援 まなビィ講座の実施	町民会議による支援と、まなビィ講座を実施	○	町民会議による支援とまなビィ講座を実施していく	○
	ウ 学校教育施設等の利活用	小中学校の運動場、体育館を社会体育施設として一般開放	利用調整会議により、円滑な利用の調整を実施 利用者のマナー向上	○	利用者のマナー向上のため、利用者に啓発を行っていく	○
	エ 社会教育関係団体の育成と活動の充実	女性の会や文化協会等の関係団体への支援 文化事業協会の事業実施	女性の会や文化協会等への支援の実施 文化事業協会講演会（ぎんぎら太陽ｓ）を実施	○	文化芸術活動への支援を継続していく	○
	オ 壮年・高齢者の社会活動への参加促進	わかば講座の実施	わかば講座の実施	○	講座の内容の充実と、住民へのＰＲ方法を検討する	○
	カ 地域活動の推進	女性学級等の関係団体への支援	女性学級等への支援を実施 参加者の高齢化・固定化	○	各学級と連携して、住民へのＰＲ方法を検討する	○
⑤ 生涯学習施設の整備充実と活用	ア 中央公民館の活用・整備	個別施設計画による改修等の実施 老朽化設備等の修繕の実施	中央公民館大規模改修を実施（R4～R5）（X⑨）	○	中央公民館の維持管理	○
	イ ドリームセンターの活用・整備	ホール、カフェの利用受付、利用調整 個別施設計画による改修の実施 老朽化設備等の修繕の実施	カフェの出店と利用の推進 自家発電機設備、エレベーター設備、ポーチ床タイルの改修を実施（X⑨）	○	ホール、カフェの利用推進 舞台照明設備の改修（LED化）を実施する	○
	ウ 町立図書館の活用・整備	図書館運営 子ども読書活動の推進 図書館行事（各種講座、各種おはなし会） 図書館システムの更新	図書館行事（各種講座、おはなし会）の実施（X⑨） 読書好きを育む環境づくり応援事業実施	○	利用者の利便性の向上と、各種行事の充実を検討していく	○
	エ 公民館分館の整備の支援	公民館分館施設の建設、改修等に助成金を交付	5分館に助成金を交付 R5より対象工事費の上限と対象工事を見直した	○	公民分館の整備を支援する	○
⑥ スポーツ活動の充実	ア 生涯スポーツ施設の機能充実と有効利用	個別施設計画による改修等の実施 老朽化設備等の修繕の実施 施設の利用受付、利用調整	補助金等を活用し勤労者体育センターのＬＥＤ化を実施 今後既存照明の生産の中止が予定されている	○	照明設備の改修（LED化）を検討及び実施する	○
	イ 学校施設（屋内・屋外運動場）の有効利用	小中学校の体育館、運動場をスポーツ団体に開放	利用調整会議により、円滑な利用の調整を実施 利用者のマナー向上	○	利用者のマナー向上のため、利用者に啓発を行っていく	○

	ウ スポーツ推進委員の育成と生涯スポーツの普及・振興	スポーツ推進委員の育成 各種スポーツイベントの開催	各種スポーツイベント（バレー、マラソン等）の開催（X⑩） 少年相撲大会にかわるニュースポーツ大会としてモルックを実施	△	各種スポーツ大会を開催する	△
	エ スポーツ関係団体の連携と体力づくりの推進	社会体育施設、各学校体育館学校運動場をスポーツ団体に開放	利用調整会議により、円滑な利用の調整を実施 利用者のマナー向上（X⑩）	○	利用者のマナー向上のため、利用者に啓発を行っていく	○

(4) 芸術・文化の振興と文化財の保護

区　分	評価項目	主な取組	成果・課題	評価	対応	前年評価
⑦ 芸術・文化の振興と文化資源の保存・活用	ア 指導者の育成と文化団体の育成	文化サークルの活動支援 指導者の育成	文化サークル活動の支援の実施 参加者の高齢化・固定化	○	文化サークルと連携して、住民へのＰＲ方法を検討する	○
	イ 地域独自の文化活動の推進	文化協会等の支援	文化協会等の支援の実施	○	文化協会等への支援を継続と、文化協会のＰＲ方法を検討する	○
	ウ 伝統芸能の保存継承	お田植え踊り保存会、五庄屋太鼓保存会等の支援	各種保存会の支援の実施	○	各保存会に継続して支援を行う	○
⑧ 歴史・文化施設等の整備促進	ア 埋蔵文化財の保存・展示及び活用	町内遺跡、出土品の整理及び展示活用	今村天主堂調査工事のため、堂内にあった聖絵を郷土史料室に展示し活用を図った	○	今村天主堂の工事が約１０年間続くため郷土史料室の展示替えができないため、新たな展示方法を検討し、活用を促進する	○
	イ 下高橋官衙遺跡の整備と地域の活性化	整備完了箇所の有効利用	コロナ禍後、大規模イベントが久しぶりに実施された。また、地域スポーツや校外学習以外にもパラグライダーや紙飛行機等多種多様に活用された（X⑪）	○	引続き地域活動やスポーツサークルの活動、校外学習等の活用促進を図るとともに、新しい活用方法を模索し、利用者を広げる	○
⑨ 文化財の保存・活用及び啓発	ア 今村天主堂の保護	保護事業の実施	保存会及び関係機関と連携し、文化庁調査官との現地協議を行いながら、調査工事を実施した	○	保存会と協議を行い、実施設計書を作成し、関係機関と保存についての協議を行う	○
	イ 埋蔵文化財の発掘調査	開発等に伴う埋蔵文化財の事前審査及び保存が困難な遺跡等の発掘調査	開発に伴う事前審査を行い、大規模開発に伴う保存が困難な下高橋北部大規模開発に伴う発掘調査及び山隈向屋敷遺跡の発掘調査を実施した	○	開発に対応できるよう遺跡等分布地図の追加改訂を順次実施する	○
	ウ 文化財保護・調査	三原城跡の確認調査および保存方法の検討	令和元年度から毎年度定期的に確認調査を実施しているが、全容は不明	○	計画的に確認調査を行い、将来に向けて資料を蓄積する	○
	エ　文化財の啓発	郷土史学級やビギナーズ 歴史倶楽部などでの講座	講座では、町の歴史への理解を深めることができた	△	町の歴史・文化財への理解が深まるよう、新たな方法を検討する	△

Ⅹ　教育施策に関する指標

※　網掛けは目標達成を表す

（子ども課関係） 指標項目		指標の概要		現 状 （当年度末）	目標値 （令和6年度）
①	委員の幅広い選任	・	性別の幅広い選任	男性：3名 女性：2名	男性：3 名以内 女性：2 人以上
		・	保護者委員	2 名（40%）	30%以上
		・	職業の幅広い選任 （旧職業）	元教員：1 名、 会社員：1名、 元公益法人理事：1 名、 自営業：1 名、元幼稚園教諭：1名	レイマンコントロールの趣旨を生かし、職業の幅広い選任を目指す
②	会議の傍聴者	・	傍聴者数の増加	傍聴者12名	傍聴者数の全国平均以上を目指す（4 年度：県等 37.9 人／年、市町村 3.8 人／年）
③	教育施設整備の基本計画	・	整備計画の策定	財政係の「公共施設等総合管理計画」に基づき平成 30 年度学校施設長寿命化計画を策定	総合管理計画に基づき、5 年ごとに見直しを行っていく
④	確かな学力の育成	・	確かな学力「全国学力・学習状況調査で平均正答率の全国平均以上の教科」	「令和5年度全国学力・学習状況調査」標準化得点の結果 ・小国 107.4 ・小算 109.0 ・中国 104.8 ・中数 106.6 ・中英（全般）97.4 ・中英（話す）116.7	全ての教科区分で全国平均（100.0）以上
⑤	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	・	「食育推進のため、子どもが作る弁当の日の実施」	全小・中学校：弁当の日 5 回実施	弁当の日の年 5 回の実施
⑥	信頼される教職員の育成	・	教職員のメンタルヘルス 「面接指導体制の確立」	希望者の医師面接指導確立 ストレスチェックの実施	労働安全衛生法改正による医師による定期の面接体制の確立
⑦	安心して学べる学校づくりの推進	・	いじめ不登校の指導体制 「小中学校の不登校の出現率」	小学校〈令和5年度〉 945 人中 23 人 ＝約 2. 4% 中学校〈令和5年度〉 433 人中 37 人 ＝約 8. 5%	全国平均以下をめざす ※令和5年度の全国出現率 小：3. 6%、中：8. 5% 〈R5問題行動等調査結果より〉
		・	「養護施設・小学校・中学校の連携」	全体連携会議を年 3 回実施	養護施設、小・中学校が連携した授業参観の実施
⑧	安全で快適な教育環境の整備・充実及び家庭との連携	・	学校施設の耐震化及び改修 「町立小中学校の耐震性がある建物の割合」	耐震化率：100% （21 棟/21 棟）	耐震化率：100%
		・	「計画的な改修」	改修工事は国庫補助により実施 H30 学校施設長寿命化計画策定	長寿命化改修工事の年次計画と実施
		・	家庭・地域社会・学校の連携 「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（全くしない）」と回答した児童生徒の割合 （　）内は全国の回答割合	「令和 5 年度全国学力・学習状況調査」質問紙調査の結果 ・小学校 3. 6%↓（7. 1%） ・中学校 9. 2%↓（12. 9%）	「全くしない」と回答する割合が 0%を目指す

		・	「朝食を毎日食べていますか（食べていない）」と回答した児童生徒の割合 （　）内は全国の回答割合	「令和５年度全国学力・学習状況調査」質問紙調査の結果 ・小学校　１．４％↓（１．５％） ・中学校　５．１％↑（２．９％）	「全く食べない」と回答する割合が 0%を目指す
（生涯学習課関係） 指標項目		指標の概要		現　状 （当年度末）	目標値 （令和６年度）
⑨	生涯学習施設の整備充実と活用	・	ドリームセンターの機能充実 「機能充実を図るための改修実施」	舞台機構設備を改修 トイレを改修 整備率　100%	舞台機構改修を H27 年目標に整備する 整備率　100%
		・	中央公民館の機能充実 「中央公民館の耐震化」	新耐震基準に適合 耐震診断結果（Iso=0.75 以上）工事不要	新耐震基準での耐震工事の実施 （耐震診断結果工事不要）
		・	町立図書館の活用 「図書貸出冊数の増加促進」	貸出冊数　73,,216 冊 人口１人当　4.56 冊	貸出冊数　60,000 冊 人口１人当　4.0 冊
		・	「図書館面積の増加及び専用出入口の設置並びに学習スペースの確保」	図書館面積　576 ㎡ （H27 改修工事を実施）	図書館面積　576 ㎡
⑩	生涯スポーツの振興	・ ・	スポーツ活動の振興、指導者の育成 「勤労者体育センター利用の体育協会所属クラブ、ジュニアスポーツクラブの団体数増加促進」	一般クラブ　13 団体 ジュニアスポーツクラブ　2 団体	一般クラブ　20 団体 ジュニアスポーツクラブ　7 団体
		・	「ひばりロードふれあいマラソン大会参加者の増加促進」	参加者　1,008 人	参加者　1,300 人
		・ ・	社会体育施設の有効活用 「運動公園の有効活用」	一般開放日を確保 勤労者体育センター 使用件数　延べ　1,396 件	一般開放日を確保 延　900 件
⑪	芸術・文化の振興と文化資源の活用	・	下高橋官衙遺跡の整備推進 「国史 98,386 ㎡のうち整備可能部分（正倉院、郡庁・曹司院）の面的整備計画」 全体：約 66,960 ㎡	東半分郡庁・曹司院平面的完了、サイン等 約 66,960 ㎡　100% 整備事業は一応の区切とし、活用を推進する	東半分郡庁・曹司院平面的整備、トイレ、サイン等 約 66,960 ㎡　100% 地域活動やスポーツ等の活用を推進する

XI　総合評価

(1)　学識経験を有する者の評価

（評価者：福岡教育大学名誉教授　小泉令三氏）

１．「自己点検・評価」の全般的傾向について

評価対象の全８７項目について、令和５年度に新たに加わった２項目（小学校教科用図書採択、校舎増築とセンター改修工事等）がどちらも、「◎」となっています。また前年度（令和４年度）と同一の項目では、前年度に一つあった「×」がなくなり、改善されています。全項目の中で「◎」と「○」が８２項目（９４％）あり、全体的に適切に事務の管理及び執行がなされていると考えられます。

（注）◎＝十分に目標を達成している。
○＝概ね目標を達成しているが、改善の余地がある。
×＝目標達成がなされていない。今後、取組の抜本的改善が必要である。

２．「X　教育施策に関する指標」について

令和６年度時点での目標値が２４個設定され、令和５年度で１６（６７％）の目標値が達成済みの状況です。次年度は最終年度にあたりますので、続けての目標値達成が望まれます。なお、次期の目標値設定にあたっては、「目指す」「推進する」といった方向性ではなく達成の有無が明確に評価できるような数値設定が適切であると考えます。

３．児童生徒の育ちに関する取組について

町内の学校における教育活動の成果として、学力および生徒指導上の諸課題は重要です。また、家庭生活の状況も家庭との連携の観点から注目すべき事項です。よって、「X　教育施策に関する指標」④⑦⑧の該当する指標を関係者の間で共有し、今後の具体的な取組が推進されることを期待します。(R4 年度意見の再掲)

４．「X　教育施策に関する指標」との関連づけについて

今年度は、「VI　教育委員会の主要施策」から「IX　教育施策の推進状況(生涯学習課)」の全てにわたり、「X 教育施策に関する指標」との関連づけがカッコ書きで「①ｲ」のように参照されているのは大変わかりやすいです。